

科目名	美道特論	Subject	Advanced Aesthetic (Bido) Theory
サブタイトル	美道を基本とした多様な対象に対する美容の研究的・実践的応用		
科目基本情報		ディプロマポリシー「主な学習効果」	
開講年次	開講時期	必修／選択	美容芸術
1 年	前期	必修	
授業形態	単位	時間	
講義	2 単位	30 時間	社会実装
ゲストスピーカー招聘回	なし		
教員名	大西・永松	メールアドレス	nonishi@・・・
教員の略歴	右記 URL より一覧を確認してください。【 https://www.yamano.ac.jp/study/teacher/ 】		
実践的教育	○ 福祉や医療の現場で得た知識や経験を基に、具体的にわかりやすく展開する。		
オフィスアワー	別途一覧をご確認ください。		

科目の概要																	
美道論では、美道五大原則（髪・顔・装・健康美・精神美）に沿って、美容が自己実現や社会全体の利益（公益）と関連することを学んできた。美道特論では、この内容をさらに深め、多様性を重視する現代社会における美容の意義、さらには健康弱者を対象とするケアとしての美容のあり方について、座学に加え実践的研究的活動も交えて掘り下げていく。																	
授業方法																	
対面		オンライン		ハイブリッド		ディスカッション		プレゼンテーション		作品制作							
○		-		-		-		○		-							
授業の目標と関連するディプロマポリシー（DP）																	
ディプロマポリシー		授業の目標															
社会実装		健康弱者を対象とするケアとしての美容の意義について説明できる。															
社会実装		美容施術や芸術活動を実社会における様々な現場で実践できる。															
教科書・教材																	
教科書		なし															
参考文献		なし															
各自準備教材		なし															
評価方法																	
筆記試験		実技試験		受講態度		小テスト		レポート		プレゼンテーション		作品		課題		その他	
20%		-		-		-		40%		20%		-		20%		-	
なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。																	
課題（試験やレポート）のフィードバックの方法																	
レポートに対して、コメントを返す。																	
履修上の条件・注意																	
・グループや個人で、学んだ内容に対する意見を発表する。 ・他者の意見に傾聴し、適宜意見や感想を述べる。 ・問いを与え回答させるとともに回答に対する解説など双方向の授業を展開する。 ※何らかの社会的な状況変化等の諸般のやむを得ない事情により、授業方法、授業計画、評価方法等を変更する場合がある。																	
本科目履修と関連する資格																	
なし																	

授業計画				
	授業内容	到達目標	時間外学習（予習・復習）	時間（分）
第1回	オリエンテーション	授業の進め方、科目の概要を理解し、準備することができる。	人が美しくあること、人を美しくすることの意義について調べる。	240 分
第2回	人を美しくすることの意義について学ぶ。	美しさには人に生きる希望を与える力があることを説明できる。	今回の復習をし、次回に向けて「自分らしさ」とは何かを調べる。	240 分
第3回	「美道」を志すことの意義について学ぶ。	「美道」を志すことで人生や社会が豊かになることを説明できる。	今回の復習をし、次回に向けて美道と社会課題との関係について調べる。	240 分
第4回	社会課題とケアとしての美容の種類や方法を学ぶ。	社会課題と美容の関連について説明できる。	復習：社会課題と美容の関連について整理しておく。	240 分
第5回	高齢者と美容の関係を学ぶ。	高齢者と美容上の課題について説明できる。	予習：高齢者と美容に関連する資料を集め整理しておく。	240 分
第6回	認知症の人の特徴と美容の関係を学ぶ。	認知症の人の美容上の課題について説明できる。	予習：認知症と美容に関連する資料を集め整理しておく	240 分
第7回	がんサバイバーとアピアランスケアについて学ぶ。	アピアランスケアについて説明できる。	予習：アピアランスケアに関する資料を集め、整理しておく。	240 分
第8回	車いす利用者と美容の関係を学ぶ。	車いす利用者の美容上の課題について説明できる。	予習：車いす利用者と美容に関連する資料を集め、整理しておく。	240 分
第9回	多様な対象とケアとしての美容（1）研究課題の設定を行う。	研究課題が設定できる。	予習：これまで収集した資料を整理しておく。	240 分
第10回	多様な対象とケアとしての美容（2）調査方法と調査用紙を検討する。	調査方法を設定できる。	復習：調査用紙について資料や情報をまとめておく。	240 分
第11回	多様な対象とケアとしての美容（3）調査方法と調査用紙を作成する。	調査項目を配置した用紙を作成できる。	復習：調査の方法などについて復習しておく。	240 分
第12回	多様な対象とケアとしての美容（4）実践および調査をおこなう。	調査結果のまとめ方を説明できる。	復習：研究レポートの概要を整理しておく。	240 分
第13回	多様な対象とケアとしての美容（5）実践および調査結果をまとめる。	結果に基づいた研究レポートを作成できる。	復習：研究レポートの作成をする。	240 分
第14回	多様な対象とケアとしての美容（6）プレゼン資料を作成する。	研究のプレゼン資料を作成することができる。	復習：発表の準備を行う。	240 分
第15回	多様な対象とケアとしての美容（7）まとめた内容を発表する。	考えを適切に発表し、評価することができる。	復習：研究レポートを修正し提出する。	240 分